

第43回 かなえ医薬振興財団 助成金受賞者が決定！

かなえ医薬振興財団は、生命科学分野の斬新な研究の推進を図り、若手研究者を育成するために1970年に設立され、これまでに全国1,510名の研究者に研究助成金および海外留学助成金を提供してまいりました。第43回となる2014年度は、10月2日の選考委員会及び10月22日の理事会を経て、受賞者60名が決定されました。今年度は研究助成金が40名、海外留学助成金が15名、アジア・オセアニア交流研究助成金が5名で、総額6,000万円の助成金を交付します。

(受賞者一覧は3-4頁参照)



10月2日開催の選考委員会の様子

○分野別の応募状況

◇研究助成

分野	応募数
臨床医学1	58
臨床医学2	34
臨床医学3	54
臨床医学4	120
基礎医学1	147
基礎医学2	141
合計	554

◇海外留学助成

分野	応募数
臨床医学1	13
臨床医学2	3
臨床医学3	7
臨床医学4	22
基礎医学1	19
基礎医学2	26
合計	90



10月22日開催の理事会の様子

◇アジア・オセアニア交流研究助成
 応募数 25
 応募数合計：669件

●選考委員長よりひとこと

選考委員長 寺本 明 (東京労災病院 院長)



今年度も昨年度に引き続き、応募領域を臨床医学4分野、基礎医学2分野とアジア・オセアニア交流研究1分野の合計7分野で公募しました。臨床医学分野は1)神経/脳、2)循環器、3)消化器/代謝・内分泌、4)呼吸器/免疫・アレルギー/血液/その他、基礎医学分野を1)癌/免疫/ゲノム/感染、2)神経/薬理/薬物動態/その他とアジア・オセアニア交流は老年医学/再生医学/感染症/疫学/医療機器/漢方/その他です。今回の応募も、全国の大学、研究所、病院等100施設以上から、研究助成554報、海外留学助成90報、アジア・オセアニア交流研究助成25報の応募がありました。厳正な審査の結果、研究助成40名、海外留学助成15名、アジア・オセアニア交流研究助成5名が決定いたしました。研究助成13.9倍、海外留学助成6.0倍、交流研究助成5.0倍の厳しい競争の中で受賞された先生方に、心よりお喜びを申し上げます。この受賞を、先生方の今後の研究活動により一層の励みとし、生命科学分野の進歩発展にさらに貢献されることを期待しております。

●研究助成金受賞者 喜びの声



多田 恵曜 (徳島大学 脳神経外科)

この度は第43回かなえ医薬振興財団研究助成金にご採択いただき、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。私の主な研究領域は脳動脈瘤形成および破裂の機序を解明することであり、脳動脈瘤患者に対する破裂予防のための薬物治療の臨床応用を目指しております。今回の受賞を励みとして、臨床現場に還元できるように一層研究に精進していきたいと思っております。

柴田 茂 (帝京大学医学部内科学講座 腎臓研究室)

この度は研究課題を第43回かなえ医学振興財団研究助成に採択して頂き、関係者の方々、審査員の先生方に厚く御礼申し上げます。また日々研究を支援して下さい帝京大学の内田教授、腎臓研究室のメンバーに感謝致します。私の主な研究領域は慢性腎臓病・高血圧の病態解明であり、中でも核内受容体であるミネラルコルチコイド受容体(MR)の局所制御機構に着目して研究に携わって参りました。今後臨床応用に結びつくような研究成果をご報告できるよう、より一層の努力を重ねたいと思っております。



西田 淳史 (滋賀医科大学 消化器内科)

この度は、このような荣誉ある賞を受賞することができまして大変光栄に感じております。かなえ医薬振興財団ならびに選考委員会の皆様には感謝の念に堪えません。また、推薦していただいた安藤朗教授、臨床・研究をともにしている消化器内科医局員の皆様、留学中に御指導いただいた久留米大学、溝口充志教授に心より感謝いたします。今回の受賞を励みにして、これからも精進を重ねて臨床に根ざした研究を展開していきたいと考えております。

森 康雄 (九州大学病院 遺伝子・細胞療法部)

この度は第43回かなえ医薬振興財団研究助成を賜り、心より御礼申し上げます。またご推薦いただきました赤司教授を始めとする九州大学の皆様にも重ねて感謝する次第です。私はこれまでに正常造血における系統特異的前駆細胞の同定とその分化経路・メカニズムに関し研究してきました。本研究の目標は、これまで同定に至っていない好中球前駆細胞を純化し、その分化機構を明らかにすることです。将来的に前駆細胞レベルでの好中球の質的・量的制御により好中球が病態に関与する疾患群の治療へと応用できればと考えています。今回の荣誉を励みとして、本研究課題に真摯に取り組む所存であります。



古澤 之裕 (慶應義塾大学薬学部 生化学講座)

この度は、第43回かなえ医薬振興財団研究助成金を賜り、心より御礼申し上げます。私は、近年増加の一途を辿っている炎症性腸疾患について、発症に関与する免疫細胞に着目して、分子生物学的な研究を行っています。ヒストン修飾に代表されるクロマチンリモデリングは、その修飾因子が創薬ターゲットとして注目されており、炎症性腸疾患における治療標的になるのではないかと期待しております。今回の受賞を励みに、より一層研究に邁進し、臨床応用につながる研究成果を発信出来るよう、努力して行きたい所存です。

羽鳥 恵 (慶應義塾大学医学部 眼科学教室時間生物学研究室)

この度は第43回かなえ医薬振興財団研究助成を賜り、大変光栄に存じます。私は、約一日を周期とする体内時計である概日時計をテーマに、外界の光によって時計がいかに調節されるかの機構の解明に取り組んでいます。第41回貴財団海外留学助成金に研究をサポートして頂き成果を上げることができ、この度その研究を更に発展させる機会を頂きました。今回の受賞を糧に、より一層の努力を重ね研究に精進して参りたいと思っております。



●海外留学助成金受賞者 喜びの声



多田 裕子 (東京大学医学部附属病院 循環器内科)

今回、かなえ振興財団のご支援もあり、留学ができることになり、大変うれしく思っています。この留学では、炎症細胞浸潤や血管新生、低酸素などを標的とする生体分子イメージングを用いた心筋症の研究を行う予定です。特にMRIに注目しています。臨床応用や病態の解明につながる研究を目指し、循環器医療の進歩に貢献できるように努力したいと思います。かなえ振興財団の皆様ならびに推薦していただいた小室先生に感謝申し上げます。

寺尾 知可史 (京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター)



この度は第43回かなえ医薬振興財団海外留学助成金に御採択下さいまして心より御礼申し上げます。難治性免疫疾患はその症例集積の難しさから研究が十分に進んでいない現状があります。私は例え希少性難治性免疫疾患であっても国際コンソーシアムの枠組みを用いて症例を集積し、ゲノム解析を通して疾患病態の本質に迫ることが出来ると考えております。留学先で最先端の解析手法を学び、患者さんに還元できる成果を挙げられるように努力したいと思います。

●アジア・オセアニア交流研究助成金受賞者 喜びの声



松本 昂 (大分大学医学部 微生物学講座)

この度は、貴財団の研究助成を賜り誠に光栄に存じます。先ず、受賞にあたり、これまでご指導頂いた国内外の多くの方々に感謝致します。特に、本研究課題は、共同研究者でもあるアハメドカムルディン准教授との長年のアジア地域における研究活動が結実させたものであり、深くお礼申し上げます。世界の多くの地域では、未だに下痢症を含む、予防可能な感染症によって多くの子どもたちが命を落としています。今回の受賞を励みにし、日本人研究者として現地の医療・研究機関と共に我々ができることを考えながら、今後も課題解決に向け取り組んでいく所存です。

●第43回(平成26年度)助成金受賞者 一覧

研究助成金

氏名	所属	研究課題
臨床医学1；神経／脳		
多田 恵曜	徳島大学 脳神経外科	高ホモシステイン血症による脳動脈瘤破裂促進作用のメカニズムと治療標的の解明
柳澤 琢史	大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科	頭蓋内脳波と脳磁計を用いた難治性てんかんのネットワーク解明
亀田 雅博	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学	電気刺激療法を用いた中枢神経疾患に対する治療戦略 —脳梗塞、パーキンソン病、うつ病への応用を目指して
坂井 健二	金沢大学附属病院 神経内科	孤発性脳アミロイドアンギオパチーの形成における 血液脳関門関連蛋白の役割の解明
臨床医学2；循環器		
柴田 茂	帝京大学医学部 内科学講座	ミネラルコルチコイド受容体局所制御の分子機構と臨床的意義の解明
中島 康弘	京都大学大学院医学研究科 循環器内科学	成体心筋細胞における心臓転写因子 Nkx2-5 による増殖抑制機序の検討
臨床医学3；消化器／代謝・内分泌		
西田 淳史	滋賀医科大学医学部 内科学講座 消化器・血液内科	炎症性腸疾患における新規 Interleukin1 family サイトカイン、Interleukin 36 の臨床 応用を目指した機能解析
中川 勇人	東京大学医学部附属病院 消化器内科	NASH 肝臓における脂肪蓄積機序とその意義； 新規マウスモデルを用いた多面的アプローチ
武部 貴則	横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学	iPS 細胞由来ヒト肝臓原基形成メカニズムの解明
内村 幸平	熊本大学医学部附属病院 腎臓内科	プロスタシン発現調節メカニズムの解明による慢性炎症を標的とした新規糖尿 病治療法開発の分子基盤
臨床医学4；呼吸器／免疫・アレルギー／血液／その他		
森 康雄	九州大学病院 遺伝子・細胞療法部	好中球特異的前駆細胞の同定と分化機構解明
姜 秀辰	大阪大学医学系研究科 抗体医薬臨床応用学	免疫疾患発症における Arid5a と Regnase-1 のバランスの解析
吉崎 歩	東京大学医学部附属病院 皮膚科・皮膚光線レーザー科	強皮症における ex vivo 誘導性制御性 B 細胞の役割
藤田 昌昭	田附興風会 医学研究所 北野病院 リウマチ膠原病内科	接着因子インテグリンの新規リガンドの同定とインテグリン制御による新規抗 リウマチ薬の開発
小野澤 真弘	北海道大学大学院医学研究科 血液内科	次世代シーケンズ技術を用いたゲノム損傷部位定量化による二次性白血病の 診断指標の確立
中島 沙恵子	京都大学大学院医学研究科 皮膚科学	アトピー性皮膚炎の病態における表皮角化細胞の分化・増殖制御の果たす役割の解明
今城 健人	横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆臓消化器病学	非アルコール性脂肪肝炎の病態進展機序において、腸内細菌由来エンドト キシンがもたらす脂質代謝障害の役割を解明する
坂田 (柳元) 麻実子	筑波大学医学医療系 血液内科	末梢性 T 細胞リンパ腫における多段階発がん機構の解明
神人 正寿	熊本大学大学院生命科学研究部 皮膚病態治療再建学分野	自己免疫疾患における long non-coding RNA の関与の研究
基礎医学1；癌／免疫／ゲノム／感染		
古澤 之裕	慶應義塾大学薬学部 生化学講座	ヒストン修飾による腸管恒常性維持機構の解明
佐藤 佳	京都大学ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域	エイズウイルスの病原性獲得メカニズムの解明
村上 智彦	大阪大学歯学研究所 生化学教室	骨軟骨組織におけるインフラマソームの活性化機構の解明
齊藤 達哉	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学	ウイルス排除に関わる I 型インターフェロン産生機構の解明
Baghdadi Muhammad	北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野	化学療法 (Doxorubicin) 抵抗性を獲得した悪性リンパ腫細胞が産生する「免疫制御 因子」とその下流因子による宿主免疫応答修飾、治療抵抗性、生存率に関する解析
馬場 智久	金沢大学がん進展制御研究所 分子生体応答研究分野	炎症性ケモカインを分子標的とした慢性骨髄性白血病の新規治療法の確立
平原 潔	千葉大学大学院医学研究院 先進気道アレルギー学寄附講座	STAT 分子の機能的均衡破綻による免疫不全の機序解明
佐々木 雅人	東北薬科大学薬学部 感染生体防御学	人工レクテンタンパク質を用いた深在性真菌症原因真菌の細胞壁糖鎖の特異構造 検出系の創製
中谷 真子	福井大学医学部 生命情報医科学講座 薬理学領域	炎症性腸疾患に関わる CDX2 を介した粘膜防御機構の解明とその治療応用
垣内 力	東京大学大学院薬学系研究科 微生物薬品化学	新規 RNA 結合蛋白質群による細菌の病原性調節機構の理解
加藤 健太郎	帯広畜産大学原虫病研究センター 地球規模感染症学分野	マクロファージの原虫破壊機構の解明と抗原虫ペプチドの開発

基礎医学2；神経／薬理／薬物動態／その他		
羽鳥 恵	慶應義塾大学医学部 眼科学教室 時間生物学研究室	霊長類における概日時計と光入力との機能と関連
古川 良明	慶應義塾大学理工学部 化学科 生命機構化学研究室	神経変性疾患の発症リスクを高める薬剤とその作用機序解明
廣田 毅	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所	概日時計の負のフィードバック機構の化学遺伝学的な解析
殿城 重矢子	千葉大学大学院薬学研究院 生化学	ショウジョウバエを用いた加齢に伴う記憶低下メカニズムの解明
白石 充典	九州大学大学院薬学研究院 蛋白質創薬学分野	高親和性型ヒスタミン受容体の高分解能構造解析
矢野 真人	慶應義塾大学医学部 生理学教室 2	神経幹細胞における蛋白質-RNA 相互作用を介した細胞機能の解明
近藤 誠	大阪大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学講座	環境や経験に依存して記憶学習行動やうつ行動が変化する分子メカニズムの解明
小坂田 文隆	名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学	霊長類網膜における中心窩周辺部の新規機能解析法の確立
藤原 祐一郎	大阪大学医学系研究科 統合生理学	精子鞭毛運動のトリガー分子
木場 智史	鳥取大学医学部 生理学講座 統合生理学分野	抑うつ状態の深化に伴う自律神経失調の神経基盤の解明

海外留学助成金

氏名	申請時所属／留学先	研究課題
臨床医学1；神経／脳		
杉山 拓	北海道大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野／ Department of Clinical Neurosciences, Division of Neurosurgery, and Hotchkiss Brain Institute, University of Calgary	脳血管外科手術への robotics surgery の臨床応用に関する基礎的研究
宮崎 雄	Dept. of Neurology, The Univ. of Chicago	マイクロ RNA による神経変性疾患の新規治療戦略
臨床医学2；循環器		
多田 祐子	東京大学医学部附属病院 循環器内科／Stanford University	分子イメージングを用いた心疾患の病態解明と臨床診断技術の開発
臨床医学3；消化器／代謝・内分泌		
の場 圭一郎	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科／Case Western Reserve University Cardiovascular Research Institute	糖尿病腎症の発症進展過程におけるマクロファージ KLF4 の役割
臨床医学4；呼吸器／免疫・アレルギー／血液／その他		
寺尾 知可史	京都大学大学院医学研究科 附属ゲノム医学センター／ Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, Divisions of Genetics and Rheumatology	大規模ゲノム解析データを用いた難治性免疫疾患病態解明と治療標的の同定
此枝 千尋	東京大学医学部附属病院 呼吸器外科学／Division of Thoracic Surgery, University of Toronto	肺移植後慢性期グラフト不全機構の解明
山内 良兼	慶應義塾大学医学部 呼吸器外科／Thoraxklinik am Universitätsklinikum Heidelberg	肺腫瘍に対する凍結融解壊死療法における腫瘍免疫学的効果の検討
君塚 善文	慶應義塾大学医学部 呼吸器内科／Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital, Department of Medicine, Division of Infectious Diseases, Vaccine and Immunotherapy Center	近赤外レーザー光の物理的免疫賦活化作用を用いた 非侵襲的インフルエンザ粘膜ワクチンの開発
基礎医学1；癌／免疫／ゲノム／感染		
根谷 喜朗	京都大学大学院医学研究科 遺伝薬理学／University of California, San Diego, Moores Cancer Center	SMAD4 欠損大腸癌の腫瘍微小環境におけるサイトカイン/ケモカインや血管新生の関与の解明と新規治療戦略の構築
勝村 紘一 リカルド	University of Wisconsin	Ras-p38 α -GATA-2 経路の白血病発症における役割の検討
荻野 崇之	Universitätsmedizin Mainz, Institut für Medizinische Mikrobiologie und Hygiene	腸管粘膜固有層に存在する自然免疫細胞の解析
基礎医学2；神経／薬理／薬物動態／その他		
小林 俊寛	Wellcome Trust /Cancer Research UK Gurdon Institute	多能性幹細胞の未分化維持におけるエピジェネティックな 安定性と始原生殖細胞との関連性の解明
高橋 直矢	Charité - Universitätsmedizin Berlin, NeuroCure Cluster of Excellence	皮質ニューロン樹状突起における知覚情報処理プロセスの解明
吉原 栄治	Gene Expression Laboratory, The Salk Institute for Biological Study	腸特異的胆汁酸受容体リガンドによる β 細胞機能制御機構の解析
前迫 真人	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻／ Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School/ Department of Neurology	PS1 構造変化を標的とするアルツハイマー病治療・予防法の確立

アジア・オセアニア交流研究助成金

氏名	所属	研究課題
アジア・オセアニア交流研究；老年医学／再生医学／感染症／疫学／医療機器／漢方／その他		
松本 昂	大分大学医学部 微生物学講座	ソロモン諸島におけるウイルス性下痢症の分子疫学
多田 達哉	国立国際医療研究センター 研究所 感染症制御研究部	ネパール医療施設における多剤耐性グラム陰性菌の分子疫学
石津 綾子	慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学教室	巨核球性白血病の病態解明と新規治療薬の開発
星出 聡	自治医科大学内科学講座 循環器内科学部門	アジア人における高血圧治療ガイドラインの作成
市川 智生	長崎大学熱帯医学研究所 国際保健学分野	中国およびネパールの寒冷高地における生活習慣病に関する疫学的研究

発行

公益財団法人かなえ医薬振興財団 事務局
〒163-1488
東京都新宿区西新宿 3-20-2 サノフィ株式会社内
Tel：03-6301-3090 FAX：03-6301-3094
E-mail：kanae.zaidan@sanofi.com
URL：http://www.kanae-zaidan.com/

☆ご協力お願いします

このニュースレターは、歴代受賞者及び応募関連領域の教室宛を中心に約 2500 部発行しております。
送付先のご所属等に変更がございましたら、登録情報を更新いたします。お手数ですが e-mail 等でご連絡下さいますようお願い申し上げます。